

のり養殖通報第4報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議

平成26年11月11日発行

[気象] 今後も暖秋傾向続く。

- 気温は10月下旬以降高め基調で経過。台風20号が通過した11月8日頃に一時的な冷え込みがあったが9日以降は再び高め基調に転じた(図1)。
- 10月下旬～11月上旬の木更津測候所における降水量は108mm(平年80mm)、平均日照時間は3.9時間/日(平年4.8時間)。周期的な前線の通過で曇雨天が多かった。
- 気象予報によると、今後は一時的に冬型の気圧配置で気温が低い日が出現するが寒気の南下は一時的で暖秋傾向が続くと予報されている。

[海況] 水温は横ばい継続。栄養塩類はほぼ十分

- 新富津のり漁場における観測値では、水温は10月末以降ほぼ横ばいが続き現在も19℃台で経過している(図2)。
- 11月4日・7日に実施した東京湾の観測結果では、表層水温は19～20℃台で昨年同期とほぼ同じ水温帯。内湾中央部の底層水温は19℃前後で表層との水温差が無くなった。植物プランクトンは少なく透明度は良好。栄養塩は南部でやや減少したがほぼ十分な量が含まれている(右下表)。

[今後の見込みと留意点] 良い場所を有効に活用

- 気象予報から想定すると、11月中は冬型が長続きせず急激な水温低下は期待できない。ノリ芽の伸び悩みや脱落が見られている場所もあり、漁場全体の伸長状況好転はもう少し先になりそう。当面は良い場所を有効に活用してください。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードできます。
次回は11月19日頃発行します。

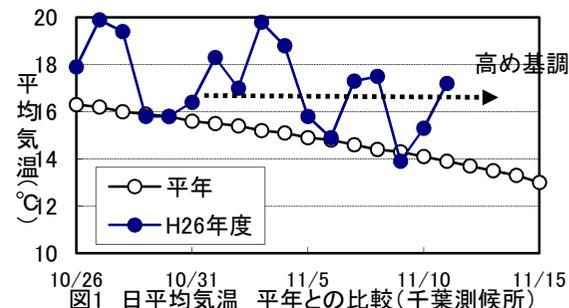


図1 日平均気温 平年との比較(千葉測候所)

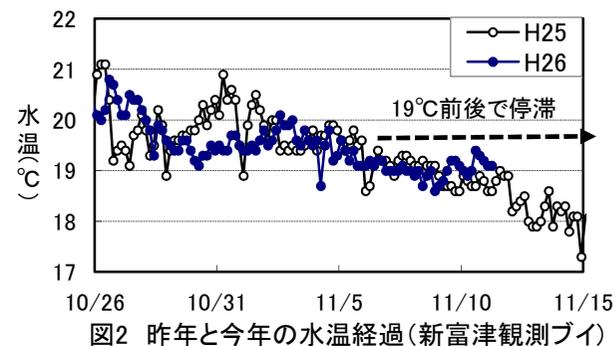


図2 昨年と今年の水温経過(新富津観測ブイ)

表1 水質観測結果(内房11/4, 内湾11/7)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	19.0	31.6	8.1	4.9	503	57
盤洲Cブイ	20.6	32.1	8.2	6.6	330	37
盤洲Aブイ	19.3	31.9	8.3	4.8	366	39
富津ベタ	19.1	32.6	8.2	4.5	330	33
2海ほ下	19.4	32.6	8.3	5.5	218	23
大貫沖	20.0	33.1	8.3	7.0	131	15
湊沖	19.4	32.7	8.3	4.5	83	8

*溶存無機態窒素 (μg/l)、**リン酸態リン (μg/l)

※ノリの色調保持に必要な量(窒素100, リン10)を下回った調査点は網がけで表示